

校訓 『自律の心』 『尊敬の情』 『知能の力』

第1回定期考査 お疲れさまでした。

第1回定期考査を6月14日（水）～16日（金）の3日間で実施しました。「日頃の学習の成果は出し切れ了吗か?」「手ごたえはあり了吗か?」この定期考査に向けて、一人一人が、きめ細かな学習計画を立てて、準備をしてきました。今週から頑張った成果としての結果が手元に返ってきているとは思いますが、取組についての振り返りを確実に行ってください。

定期考査反省のポイント① 自分の目標と結果がかみあっているか…

皆さんの目の前にはテストが返ってきて解答用紙があるはずですが、その結果が、自分が思い描いていたようにならなかったとしたら、テストそのものよりもまずは今回の自分の試験勉強を考えてみましょう。今のあなたが得た点数は、今回やった試験勉強で得た結果です。つまり、今回の定期考査のために取組んだ試験勉強で、なるべくしてなった結果ということです。もし、この結果に納得できないというのであれば、試験勉強そのものを変えるしかありません。今回も定期考査に向けた学習計画を立てたはず。その計画表もよく見ておきましょう。その計画は、本当に自分の納得する結果を出すための計画でしたか?とりあえず課題を終わらせるための計画だったりしていませんか?

定期考査反省のポイント② 間違ったり分からなかったりした原因を探る…

皆さんが一所懸命に頑張った解答用紙、本来そこには次につなげるための情報がいっぱいあります。点数を見て一喜一憂したい気持ちはわからなくもありませんが、次の2つのことを確かめてみましょう。「どんな間違い方をしたのか?」「何がわからなかったのか?」この「どんな間違い方だったか」「何がわからなかったか」の2点を、全教科の一つ一つのミスごとに調べていきます。ぜひ箇条書きでリスト化して書いてみてください。そして次に、今書き出した箇条書きリストに対して「どうしてそうなったのか」の原因を探りましょう。原因を探っていくのに大事なものは、「なぜその間違いが起きてしまったのか」の視点と自分の問題としてとらえることです。たとえば、間違いの原因が「問題を読んでいなかった」という場合、さらに「なぜ問題を読まなくても解けると思ったのか」というところまで掘り下げてみるとあなた自身が抱えている問題点がみつかるはずです。また、原因を探るときは心理的な側面も重要なことなので、あわせて思い出してみてください。緊張するとできなくなってしまうタイプは心理的な原因が強いかもしれません。テストにおける間違いの詳しい原因がわかれば、次に打つべき方法が見えてきます。ここでわかったことを次回のテスト勉強に組み込んでいきます。

良かった点はさらに伸ばし、課題については反省し改善する等、今後につなげてほしいと思います。

評価・評定についてのお知らせ

各教科の先生方から説明があったと思いますが、令和5年度の観点別学習状況の評価及び評定について、槻田中学校では、以下のように判定していきます。確認をお願いいたします。

1 観点別学習状況の評価について

各教科、目標に対してどの程度到達しているかを「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとして評価します。評価の方法として、①ペーパーテスト（定期考査、実力考査、毎時の適用問題や単元末問題等）②教師による観察 ③ノート記述、レポート、振り返り、話し合い、作品、表現等 ④自己評価・相互評価等になります。（別表1）

2 5段階評定について

観点別学習状況評価を総括的に評価し、次のように評定を決定します。「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1とします。つまり、前述の観点別学習状況の評価の観点に基づき、各教科の目標の実現状況を総括的に捉え、各観点の評価結果A、B、Cの組合せにより、5段階で表しています。（別表2）

「観点別学習状況」の評価と「評定」の関係（別表1）

観点別学習状況		評 定	
A	十分満足できる	5	十分満足できるもののうち、特に程度の高いもの
		4	十分満足できるもの
B	おおむね満足できる	3	おおむね満足できるもの
C	努力を要する	2	努力を要するもの
		1	一層努力を要するもの

5段階評定パターン（別表2）＜原則として次のように評定を決定します＞

観点別評価	合計値	評 定
A A A	9 点	5
A A B	8 点	4
A B B	7 点	3
A A C		
A B C	6 点	
B B B		
B B C	5 点	
A C C		
B C C	4 点	2
C C C	3 点	1

観点別評価	ポイント
A	3 点
B	2 点
C	1 点

